

■施策評価シート

施策番号	3-01-①
施策名	教育内容の充実

<p>施策の概要</p> <p>児童生徒の学力の実態や学習状況、学校を取り巻く環境等をふまえ、質の高い授業づくり、創造的で特色ある教育活動づくり、思考力の育成を図る取り組み、学習習慣の定着を図る取り組み等により、児童生徒の確かな学力向上をめざします。</p>	
---	--

成果指標(単位)	学校評価「学校が楽しい(%)」と「授業がよくわかる(%)」の平均(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	90.0	90.0	90.0
実績値	90.7			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成22年度～24年度は概ね85%～87%の水準を維持してきた。体験的な学習活動と質の高い学習指導を求めて各種事業に取り組んできた成果であるといえる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>平成25年度になって初めて約90%の結果を得た。それまでずっと87%前後だったのが課題である。体験的な学習と学習指導が、相互補完的に作用し合うような取り組み(事前の指導、活動後のふりかえり等)を適宜取り入れることや、子ども一人ひとりに丁寧に関わることなど、各事業の特質を生かした取り組みをさらに充実させていきたい。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>ICT教育、英語教育等の学力向上に関わる取り組みが、社会からの要請としてこれまで以上に課題となってくる。少人数学級編制指導教員配置事業をはじめとする各種支援員、加配教員配置事業を中心に、一人ひとりの子どもに寄り添いながらの学習指導や体験的な活動を実施することにより、成果指標が90%以上になることを目指す。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>今年度から学級編制にかかわる県基準が、小学校4年生までと中学校1年生から3年生までを35人学級編制とし、さらに少人数加配を使って小学校5年、6年のどちらかについて35人学級編制にできるとするなど、県下各小中学校の状況に応じて柔軟なものとなった。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校少人数学級編制事業	学校教育課	○	1学級35人以内を基準とする少人数の学級編制ができ、きめこまかな指導、一人ひとりを大切にされた指導ができています。
子ども読書活動推進事業	学校教育課 図書館	○	人的措置等により図書館が、図書の貸出し業務を主とする読書センターとして機能している。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
中学校体育推進事業	スポーツ保健課
小学校体育推進事業	スポーツ保健課
子ども読書活動推進事業	図書館
青少年美術展覧会開催事業	学校教育課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
教育研究推進事業	学校教育課
児童会・生徒会活動推進事業	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
学校・園運営支援事業	学校教育課
学力向上重点事業	学校教育課
学びの教室開催事業	学校教育課
学校改革推進事業	学校教育課
教科担任制加配教員配置	学校教育課
大規模中学校加配教員配置事業	学校教育課
学校ICT推進事業	学校教育課
自主活動学級開設事業	学校教育課
同和教育指導推進事務	学校教育課
人権教育推進事業	学校教育課
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

施策番号	3-01-②
施策名	教職員の資質向上

<p>施策の概要</p> <p>教育委員会による指導・支援およびスキルアップアドバイザーの派遣や教育研究所の講座、研究奨励等のほか、各学校における校内研修等を充実し、教職員相互の学び合いにより指導力の向上を図ります。</p>
--

成果指標(単位)	研修満足度(受講者による満足度4段階評価、上位2段階の割合・%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	96	96	96
実績値	96			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>研修満足度の目標値はここ数年80%としており、実績値は90%を超えている。学校教育に対する社会からの要請、複雑化する子どもをとりまく教育環境といったものについての対処等、研修課題は常に新たに設定される。教育を取り巻く学校課題について適切に向かい合い、研修課題を設定することが求められる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>成果指標から教職員の力量を高めるために、一定以上の効果は上がっていると考えられる。さらに、より多くの受講者を募り、また期待に沿う内容を設定することが求められる。</p>

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>ICT教育、英語教育(小学校においては外国語活動)等、現代社会の要請に常に応えるべく、教員の指導力向上、すなわち効果的な指導法の習得が求められており、そのことを踏まえた各種研修を実施していく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>文科省のICT活用研究指定(指定校:志津小・渋川小、地域指定:草津市) 学校いじめ防止基本方針の策定(H26.4)</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
スキルアップアドバイザー配置事業	学校教育課	○	限られた教員が対象ではあるが、実践に基づいた研修ができています。
教職員研修事業	学校教育課	○	勤務時間外の研修でも自主的に参加し、演習を中心とする研修受講により、実践力を高めることができた。
講座開設事業(教育研究所)	学校教育課	○	主催事業への出張や、県教育センターの研修講座等と開催日が重なってしまうことで、参加者数がここ数年増えていない。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育調査研究事業	学校教育課
教育研究所運営事務	学校教育課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-02-①
施策名	学校施設・設備の充実

<p>施策の概要</p> <p>老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、必要に応じて施設の新・増築等を進めます。</p>
--

成果指標(単位)	小中学校の大規模改修計画(H24~H28)の進捗率(進捗面積/計画面積;%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	61.0	85.0	100.0
実績値	29.0			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成25年度は小学校2校の大規模改造工事を計画的に実施することができた。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>2小学校で大規模改造工事を実施し、あわせて両小学校のグラウンド改修工事を実施した。また、エレベータの設置およびトイレ改修工事を実施し、バリアフリー化を行った。さらに非構造部材の耐震対策として、天窓補修工事および体育館建具改修工事を行い、学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図ることができた。老上小学校の教育環境の適正化を図るため、小学校の分離新設に必要な用地について、用地買収を行うとともに、建築計画について、住民参加によるワークショップにおいてPTAなど市民から意見を聞き、基本設計に反映させることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>引き続き学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、大規模改造工事を計画的に実施する。また、非構造部材の耐震対策として、必要な箇所について改修工事を行う。さらに、宅地開発等による児童数の増加に対応するため、志津南小学校の増築工事を行う。新小学校の平成28年4月開校を目指して、新校舎等の建築工事を行う。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>今後、施設の老朽化や長寿命化、非構造部材の耐震化なども視野に入れた大規模改造の方策(夏季集中型の見直しも含む。)について検討を行う必要がある。新小学校用地に遺跡が確認されたため、文化財の発掘調査と調整しながら造成工事の進捗を図る必要がある。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改造事業	教育総務課	○	計画に基づき、2小学校について大規模改造工事を実施し、教育環境の改善を行うことができた。
中学校大規模改造事業	教育総務課	○	大規模改造工事の実施設計を行うとともに、工事に向けて学校との調整を行った。
小学校校舎等整備事業 (老上小学校の分離・新設)	教育施設整備室	○	新小学校の用地買収を行うとともに、住民参加によるワークショップでの意見を取り入れた建築基本設計を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営費	教育総務課
小学校施設維持管理費	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校管理運営費	教育総務課
中学校施設維持管理費	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-03-①
施策名	生徒指導・教育相談体制の整備

施策の概要

中学校区の小中学校間における生徒指導の連携をいっそう進めるとともに、子ども一人ひとりの思いや願いに寄り添った教育相談を行います。

成果指標(単位)	学校評価「問題行動等の解決に対し組織的に取組んでいる」(5段階評価)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	4.0	4.0	4.0
実績値	3.8			

成果指標実績に対するコメント

学校における生徒指導、教育相談に関わる問題事案については、すべて学校が組織的に対応している。その内実としては、外部関係機関から学校への人的支援、専門的見地からの助言、協力等により、短期的に解決していることが多いが、継続的、長期的な取り組みを必要とする場合もあり、見守りや配慮を継続している事案がある。

施策の達成度評価

子どもを取り巻く環境すべてを見て支援を行う組織的な取組対応のあり方が教職員に理解され、関係機関からの指導・助言、協力・支援等を組織として活かした効果的な対応をすることで、問題の早期解決が可能になってきた。見守りや配慮を継続する場合についても常に組織としての対応をしていくことが求められる。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

生徒指導上の問題事案、教育相談事案について、関係機関からの助言や指導、協力、支援等のさまざまな手法を主体的に駆使し、学校が組織として適切な対応をしていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
学校問題サポートチーム運営事業	学校教育課	○	早期に対応策を講じ、対処することができ、事態を収束の方向に導いた。
中学校生徒指導主事活動推進事業	学校教育課	○	問題行動等に関わる関係機関、学校間の連携がスムーズに図れた。
学校教育支援教員配置事業	学校教育課	○	不登校等に関わる学校間連携や、児童生徒への相談体制の充実が図れた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生徒指導推進事務	学校教育課
学校支援対策推進事業	学校教育課
外国人児童生徒教育支援事業	学校教育課
学校連携推進事業	学校教育課
社会同和教育推進事務	学校教育課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-03-②
施策名	安全で安心な教育環境の確保

<p>施策の概要</p> <p>学校生活における児童・生徒の様々な活動が、安全で安心な環境のもとで展開されるよう、地域住民の御協力のもと、健やかな学校生活づくりを支援します。</p>

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		91.0	92.0	92.0
実績値	91.8			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>児童・生徒に対するアンケートの結果、学校が楽しいと回答した割合は、前年度より2.0%上昇しており、今後も各施策のさらなる取り組みが必要である。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>通学路対策事業を始め、学校保健の推進や就学援助など、学校生活が安心して送れるための各種施策を行った。</p>

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>児童・生徒の安全・安心な環境整備には、スクールガードなど地域住民との協力が必要であり、連携を強化していく必要がある。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>通学路対策事業については、滋賀県が新たに委嘱した「おうみ通学路交通アドバイザー」と連携し、通学路の合同点検を実施した。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
通学路対策事業	スポーツ保健課	○	関係機関とともに通学路合同点検を実施し、子どもたちの安全対策に取り組んだ。
給食センター管理運営事業	学校給食センター	○	安全・安心かつ栄養のバランスのとれた学校給食の提供に取り組んだ。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
校医等配置事業	スポーツ保健課
児童・生徒等健康診断事業	スポーツ保健課
就学时健康診断事業	スポーツ保健課
学校・幼稚園環境衛生管理業務	スポーツ保健課
学校保健推進事務事業	スポーツ保健課
学校保健推進養護教諭配置事業	スポーツ保健課
日本スポーツ振興センター負担金事務	スポーツ保健課
地域ぐるみの学校安全推進事業	スポーツ保健課
児童・生徒安全対策事業	スポーツ保健課
学校災害賠償補償保険事務	スポーツ保健課
通学区域管理事務	学校教育課
修学援助資金給付事業	学校教育課
奨学生友の会活動事業	学校教育課
児童就学援助費支給事務	学校教育課
生徒就学援助費支給事務	学校教育課
児童通学支援事業	学校教育課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

施策番号	3-03-③
施策名	特別支援教育の充実

施策の概要

教育委員会と学校が連携し、特別な支援を要する児童・生徒のよりよい教育をめざすとともに、各学校の特別支援教育の推進体制の充実やすこやかサポート支援員の配置および有効活用を進めます。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	91.0	92.0	92.0
実績値	91.8			

成果指標実績に対するコメント

担任や支援員が、特別支援教育の視点からの授業づくりや個別の支援を行うことにより、児童生徒は意欲的に学習に取り組み、確かな学力を身につけることができるようになってきた。

施策の達成度評価

小・中学校において、学校すこやかサポート支援員が障害のある児童生徒に対して、一人ひとりの課題を克服する支援ができています。
言語障害や発達障害のある就学前の児童に対して、「ことばの教室」の指導員がきめ細やかな指導を行っている。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

専門家やことばの教室指導員による特別支援教育に係る巡回訪問を行い、教職員の資質向上を図る。学校すこやかサポート支援員を確保しながら、児童生徒の学習面と生活面の支援をすすめていきたい。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

各小中学校における個別指導計画の作成。
専門家による小中学校への巡回相談。
特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、学校すこやかサポート支援員に対する研修会の実施。
学校すこやかサポート支援員72名(市内小中学校合計)の配置。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特別支援教育推進事業	学校教育課	○	担任等が支援の必要な児童生徒に対する支援方法を学び、実践に生かすことができた。
学校すこやかサポート支援員配置事業	学校教育課	○	支援の必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるようになった。
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所	○	不登校傾向の生徒に改善が見られた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
障害児就学指導委員会運営事業	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-04-①
施策名	青少年教育の充実と社会参加の促進

<p>施策の概要</p> <p>多様化する青少年の問題に対応する青少年への教育や啓発の充実を図るとともに、少年センター等との連携により、問題解決のための取り組みを地域ぐるみで展開します。</p>

成果指標(単位)	青少年にかかる相談件数(件)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	900	900	900	900
実績値	840			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>相談・補導活動等の事業により青少年の健全育成に一定の成果は得られている。相談件数もここ2年増加、街頭補導活動もセンター、学区で実施した。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>県、警察等の関係機関、補導委員会等関係団体との連携、協力により相談活動、補導活動などに取組めた。引続き青少年の健全育成・非行防止に取り組んでいく。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>県、市の専門性のある相談機関の充実により、相談件数はそれ程増加しないと思われるが、相談内容が複雑、難問等で関係機関、団体等と連携をを深め取組む必要がある。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>警察の補導啓発活動の積極的な取組みにより、補導、犯罪少年が減少傾向にある。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
少年センター管理運営事業	生涯学習課	○	カウンセラーへの相談が増加した。また、街頭補導活動を計画的に実施できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-04-②
施策名	青少年の健全育成に向けた活動への支援

<p>施策の概要</p> <p>青少年の健全育成を図るため、地域主体による少年団体活動や青少年育成活動、青年国際交流等の支援・促進を図ります。</p>

成果指標(単位)	青少年健全育成事業への参加者数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		800	800	800
実績値	762			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>青少年育成市民会議が開催している主張発表大会や育成大会、みんなでトークなどの事業へ参加した人数。昨年度は、開催場所の関係でやや参加者が少なかった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>青少年育成市民会議への支援を通して、青少年の健全育成を目的とした主張発表大会や育成大会、みんなでトークなどの事業を推進した。その結果、青少年に係わる関係者や市民の方に青少年の健全育成についての意識を高めることが出来た。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>青少年育成団体の活動に対して、積極的に支援を行い、青少年の健全育成にかかわる事業(主張発表大会、育成大会、みんなでトーク等)の活性化を図る。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
青少年育成活動事業	生涯学習課	○	事業実施により青少年の健全育成に寄与することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
青少年教育推進事業	生涯学習課
成人式開催事業	生涯学習課
青年国際交流事業	生涯学習課
青少年対策推進事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。